

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	父母負担軽減交付金交付事業	所管	教育委員会教育総務部 教育総務課
			Tel 2998-9232

事業の目的 (何の為に 行うか)	学習材料費における保護者の負担を軽減するとともに、各学校長に交付金として交付することで、教育内容に応じた学校独自の運用を図ることを目的としている。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	所沢市立小中学校全児童生徒	対象とした数	51,667	人
		実際に 利用した数	51,667	人

活動の内容	(何を したか)	各学期当初、児童生徒の在籍数を調査し、その人数に年度当初に定めた各学期ごとの単価を乗じた金額を学校長に交付する。各学校は、必要な学習材料を交付金により購入し、年度末に実績報告を行う。							
活動実績	項目名	交付人数 (1学期)	25835 ----- 単位 人	項目名	交付人数 (2学期)	25832 ----- 単位 人	項目名	-----	単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	15,665	15,500	17,285	51.0

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	交付額	1学期、2学期の交付額の合計	15765 ----- 単位 千円	15500 ----- 単位 千円	98.3 ----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 改善・効率化 * 改善余地なし その他 []			
		終了 ⇒ 事業完了		終了 休止	
	予算	* 現状どおり 増額		減額 終了	

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了				
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了			
	予算	現状どおり 増額		減額 終了	

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	120100	TEL	2998-9232
事業コード	120108	父母負担軽減交付金交付事業	教育委員会教育総務部 教育総務課			
開始年度	昭和 49 年度	→	終了年度	平成 年度		
		グループ	教育支援担当			

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令			
	分野別計画・指針					学習材料費の父母負担軽減交付金交付要綱		
	関連・類似事業							
	総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び人・文化をはぐくむまち	施策	2節 学校教育	中柱	父母負担の軽減	小柱
・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 6 位		・実施計画における位置づけ…					H19 *** H20 ***	
行政改革大綱における行動計画への位置づけ								
事業開始の背景		児童・生徒の保護者が負担する学習材料費の一部を交付金をもって軽減することを目的として開始した。						

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)								
	学習材料費における保護者の負担を軽減するとともに、各学校長に交付金として交付することで、教育内容に応じた学校独自の運用を図ることを目的としている。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方					
	所沢市立小中学校全児童生徒			各学期における基準日(4月6日・10月1日)時点で市内に居住する数とする。					
対象数	単位	平成 18 年度	51,916	人	利用数	単位	平成 18 年度	51,916	人
		平成 19 年度	51,667	人			平成 19 年度	51,667	人
事業の具体的な内容及び実施方法									
各学期当初、児童生徒の在籍数を調査し、その人数に年度当初に定めた各学期ごとの単価を乗じた金額を学校長に交付する。各学校は、必要な学習材料を交付金により購入し、年度末に実績報告を行う。									

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)		≪ 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
平成19年度中に改善した点				
特になし				

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		15,810	15,665	15,712	
	決算(見込み含む)		15,575	15,500		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人)	(人)	(人)	(人)	
	正規職員人件費		0.19 人	1,748	0.19 人	1,785
	公債費					
	事業費合計		17,323	17,285		
	財源内訳	一般財源		17,323	17,285	15,712
		国・県支出金				
		受益者負担金				
	市債					
	その他					
市民一人当たり(単位:円)			51.3	51.0		
利用数一単位あたり(単位:円)			333.7	334.5		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	交付人数(1学期)	交付対象者の人数	単位	人	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	交付人数(2学期)	交付対象者の人数	単位	人	25941	25835	26185	26185
	成果分析	交付額	1学期、2学期の交付額の合計	千円		25975	25832	26185	26185
				%	達成率	15810	15765	15712	15712
					実績	15574	15500	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2 1	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	事業の対象を見直す必要性	評価項目	現状評価	現在の実施主体	見直しの必要性
	対象設定	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	明らかとなった課題	特になし					
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)				
	平成20年度における目標設定						
	平成21年度における事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])					
	総合評価	<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)					
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由	保護者の負担を軽減するだけでなく、小・中学校において学校の特色を出した教育活動を行なう上でも、当事業は十分な成果をあげている。このため、今後も継続していく必要がある。					
	評価日	平成20年5月15日	記入者職氏名	教育総務課長 村上 光利			

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	※二次評価対象外						
⑨評価	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
		評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価日							

⑩個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り		計画コード	2132
	基本目標	2子どもたちが心豊かに育つためのゆとりある暮らしを支えます			
	主要課題	1すべての子育て家庭への支援			
施策の方向	3経済的支援の充実				